



この講義は、ATA研修 対面研修「対面研修について」です。

目次



1. はじめに
2. 研修の内容

目次

1. はじめに

1. はじめに



- 障害の体験を通じて障害を理解し、その上でどのような福祉機器の支援が可能かを学ぶ
- 実際に障害を持つ方を交えた講義から障害者の被っている不利益について理解する
- 障害者支援を目指す受講生同士で、お互いの考え方を知る

3

学習するにあたってのポイントは、
障害の体験を通じて障害を理解し、その上でどのような福祉機器の支援が可能かを学ぶこと、
実際に障害を持つ方を交えた講義から障害者の被っている不利益について理解すること、
障害者支援を目指す受講生同士で、お互いの考え方を知ること、
です。

目次



1. はじめに
2. 研修の内容

目次

2. 研修の内容

2. 研修の内容



本研修での学習は以下の障害別に進める

- 聴覚障害
- 視覚障害
- 発達障害
- 肢体不自由（脊損・頸損系）
- 重度重複（難病系）

5

本研修での学習は以下の障害別に進めます。

聴覚障害、
視覚障害、
発達障害、
肢体不自由(脊損・頸損系)、
重度重複(難病系)、
です。

2. 研修の内容



各障害について以下のような学習を行う

- ▶ 障害当事者の講演を聞く
- ▶ 障害を体験してみる
- ▶ 標準アクセシビリティについて学ぶ

6

各障害について以下のような学習を行います。
障害当事者の講演を聞くこと、
障害を体験してみること、
標準アクセシビリティについて学ぶこと、
です。

2. 研修の内容



その他の学習活動として以下を行う

- ▶ 障害者用支援機器製造メーカーのプレゼンテーションを受ける
- ▶ グループディスカッションに参加する
- ▶ 理解度テストを受ける
- ▶ レポートを作成し提出する

7

その他の学習活動として以下を行います。

障害者用支援機器製造メーカーのプレゼンテーションを受けること、
グループディスカッションに参加すること、
理解度テストを受けること、
レポートを作成し提出すること、
です。

以上です。